

NPO法人 おいらせサポートハウスKの家

代 表 者 : 服部 知子
所 在 地 : 十和田市奥入瀬字下川目10-6
従 業 員 数 : 21人
設 立 : 2001年9月
電 話 : 0176-27-0456

◇利用する方に「もうひとつの家」のように過ごしていただきたい。そのために職員自らものびのびと働ける職場でありたい、そう考えて職場環境を改善してきました。これからもより働きやすい職場を目指していきたい。

Kの家は、地域密着型をベースに福祉サービスを提供するサポートハウスです。少人数にこだわり、子どもから大人まで障害を持つ方々を支援したいという思いから、2001年9月に設立されました。利用者は10人前後で、1対1の支援が必要と考えているので、常に10人以上の職員がいるようにしています。仕切りのない空間で、利用者は自由で家族的な雰囲気の中、過ごしています。



働き方・休み方

“休みは自由で無理やり働く職場ではない。ストレスなく休みを使ってほしい”
これが管理者の想いです。

1カ月単位の変形労働時間制を採用していますが、週休二日の休日は自分の予定に合わせ自由に選ぶことができます。職員の様々な事情を考慮し、中抜けもできる時間単位の年次有給休暇を付与できるようにしました。職員を信頼しているので、事後報告でも良しとしています。年次有給休暇の取得率は70%以上で、職員の中には、使い切ってしまったために来年分を前借りしている者もいます。

また、助成金を活用し業務改善のための設備を導入したり、会議を減らして短時間ミーティングで情報共有をするなど、職員の負担軽減や作業効率向上に取り組むことで、残業はほとんどなく、自分の時間や生活を大切にしながら働くことができます。

人材育成

職場に慣れ、資格取得を目指す職員をサポートします。

働きながら資格を取りたいという職員が出てきたことがきっかけで、令和6年に就業規則を改訂し、人事教育にかかる時間・経費を法人負担とする、自発的職業能力開発経費負担制度を導入しました。経験を積み仕事に意欲が出てきたからこそ、資格取得を目指したいという想いを応援します。

◆トップのコメント

小さな事業所ですが、スタッフが孤立する事のないように、オープンな空間の中でサービスを提供しながら、スタッフ同志の意思疎通がスムーズにできるように心掛けています。また仕事柄、心身のリフレッシュのためにも多めの人員を配置し、希望する有休の取得を勧めています。